

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月27日		記入者	内線	3332
部名	土木部	課名	下水道整備課	課長名	石川 正次
事務事業名	公共下水道整備負担金・補償費事業(市街化区域分)				
予算上の事務事業名	下水道整備課分				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32,620	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施策名	第2施策 雨水対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
下水道法第3条(管理) 公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする。					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
公共下水道の整備工事を円滑に推進するため、土地の賃借料、水道管等の切回し負担金を支出するもの。				市街化区域	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
負担金支出件数	40件	40,717,489円			
補償費支出件数	8件	5,183,403円			
6 関連・類似事業や他市の状況					
公共下水道整備負担金・補償費事業(市街化区域分)					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	53,879	132,300	45,901	49,600	49,600
一般財源	53,879	132,300	45,901	47,700	47,700
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	1,900	1,900
人件費の合計	839	801	807	807	807
事業コスト合計(a)	54,718	133,101	46,708	50,407	50,407
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	公共下水道整備負担金・補償費事業(市街化区域分)		対象名称(単位)	支出件数(件)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	53,879	132,300	45,901	49,600	49,600
対象数	44	71	48	9	9
単位あたり経費(円)	1,224,523	1,863,380	956,271	5,511,111	5,511,111
前年度比		1.52	0.51	5.76	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	支出件数（件）		指標式と指標の説明	支出件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	44.0	71.0	48.0			
目標	44.0	71.0	48.0	9.0	9.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	支出件数（件）		指標式と指標の説明	支出件数 / 支出予定件数 × 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	44.0	71.0	48.0			
目標	44.0	71.0	48.0	9.0	9.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		整備工事遂行上、必要不可欠である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 当該事業は現行において成果及び効率性を確保しているため、現状維持を図るものとする。			14 課題として認識されたこと			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				